

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市清水ナショナルトレーニングセンター 清水日本平運動公園球技場庭球場 静岡市清水蛇塚スポーツグラウンド 静岡市清水庵原球場		
課名	スポーツ振興課		
指定管理者名	トレセングループ管理運営共同企業体		
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和2年7月28日(火)		
評価委員 ※()内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 杉山 範雄 (スポーツ振興課長) ②委員 木宮 敬信 (静岡市スポーツ推進審議会会長) ③〃 狩野 充央 (静岡市スポーツ推進委員連絡協議会会長) ④〃 鈴木 文恵 (文化財課埋蔵文化財係長) ⑤〃 萩原 智美 (文化振興課課長)		
評価点 (各委員平均点)	95.6点	評価	Ⓐ B・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	<p>1 履行状況の確認について</p> <p>職員が施設の設置目的を充分理解しており、研修により周知徹底を図っている点は評価できる。また、施設の管理運営については業務仕様書及び事業計画書に沿った事業が実施されている。</p> <p>さらに、緊急時対応における訓練や接遇研修を実施するなどの職員の資質向上に努めている。</p> <p>2 指定管理者の創意工夫について</p> <p>各施設において、競技人口及び利用者増加のために、プロによるスポーツクリニックの開催等、創意工夫のある自主事業の実施やSNSでの広報活動を行い、稼働率向上に努めている。</p> <p>また、職員のスキルアップを図るため、毎年社内研修を行い、衛生講習会や顧客満足度向上研修等を開いている。</p> <p>天然芝グラウンドの利用については、3施設(清水ナショナルトレーニングセンター、清水日本平運動公園球技場及び清水蛇塚スポーツグラウンド)で利用調整を行い、グループを活かした運営に努めている。</p>		

	<p>3 市民（利用者）のサービス向上について</p> <p>教室事業などの利用者満足度は、90%以上の評価を受けており、利用者ニーズに沿った運営がなされている。</p> <p>また、地元の小学生を対象とした、プロ選手によるスポーツクリニックの実施や、地元と連携したイベントの実施等、地域活性化への参画ができています。</p> <p>その他、各種団体（サッカー協会、野球連盟等）とも連携し、良好な関係を構築している。</p> <p>4 施設固有の評価項目について</p> <p>清水ナショナルトレーニングセンターや清水庵原球場では、積極的に合宿誘致を行い、国内外問わず多くのプロ選手が利用し、継続的に利用されていることが多いことから、高い評価を得ていることがわかる。</p> <p>「Jグループ安全委員会」を独自に設置し、複数の職員による点検を行い、施設の安全管理に努めている。</p> <p>総括的には、全施設において、適正に管理されており、また、利用者満足度も高く、利用者ニーズに沿った運営がなされており、実績として十分評価できる。</p>
--	--

総合評価結果総括表

施設の名称 [清水ナショナルトレーニングセンター、清水日本平運動公園野球場・庭球場、清水蛇塚スポーツグラウンド、清水庵原球場]
 指定管理者 [トレセングループ管理運営共同事業体]

		A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認		【配点50点】					
(ア) 職員が施設の設置目的および施設運営上の基本方針を理解し、運営をおこなっている。		5	4	5	4	5	4.6
(イ)当初、計画書等に示された事業目的を達成することができたか。	当初の計画書等に示された施設維持管理がなされているか。	5	5	5	4	5	4.8
	指定事業の実施は適正に行われているか。	5	4	5	4	5	4.6
(ウ)施設の管理体制は適切か。	自主事業の実施は、当初の計画通りに実施されているか。	5	4	5	4	5	4.6
	安全な利用に支障がきたすことのないよう、施設の維持管理、日常的な点検・清掃、修繕等が実施されている。	5	5	5	4	5	4.8
	災害発生時の対応体制を整備し、避難訓練や防災訓練を実施している。	2	2	2	2	2	2
	緊急時、事故発生時の迅速な対応と市への報告がなされている。	2	2	2	2	2	2
	管理運営にかかる規則、規程、マニュアル、業務日誌等を作成し、適正に業務が行われている。	2	2	2	2	2	2
	利用者受付業務は適切か	2	2	2	2	2	2
	職員が利用者に対して公平で公正な利用ができるよう努めている。(応対、接遇等)	2	2	2	2	2	2
	個人情報の保護において、適正な運用がされている	2	2	2	2	2	2
	必要な人員、適正な能力を持った職員の適正な人員配置がなされている。	3	3	3	3	3	3
	第三者委託先との調整が適切に行われ、業務の履行において監視、指導、確認等が行われているか。	2	2	2	2	2	2
	適切な会計処理がされ、経理書類の作成と保管がなされている。	2	2	2	2	2	2
	モニタリングにおいて、改善事項等が生じた場合、改善が見られたか。(改善事項がない場合は1点)	2	2	2	1	2	1.8
	職員が研修しやすい環境を整え、職員の資質向上に努めているか。(資格の取得やスキル向上のための外部研修)	2	2	2	2	2	2
環境に配慮した調達や業務実施が行われているか	2	2	2	2	2	2	
小計		50	47	50	44	50	48.2
2 指定管理者の創意工夫		【配点15点】					
(ア) 自主事業における工夫 (新たな事業価値の創出)	貸館業務や指定業務の妨げにならないよう、自主事業の運営を行い、施設の有効活用に努めているか。	2	2	2	2	2	2
	自主事業において創意工夫がみられ、魅力的な賑わい創出につながる事業を行っているか。	2	2	2	2	2	2
	利用者増加のための提案事業(自主事業)を積極的に行ったか。	2	2	2	2	2	2
(イ) 収入増加のため、指定管理者のノウハウ(専門性・技術・経験等)を活かした事業等)を活かした具体的な取り組みが行われているか。	(施設利用促進の方策ができていますか)	2	2	2	3	3	2.4
(カ) 利用者ニーズに沿った事業の見直しを行い、事業の改編等を行っている		3	3	3	3	3	3
(キ) 初心者を考慮(事業内容や新規受講者獲得)した事業の実施がされているか		3	3	3	3	3	3
小計		14	14	14	15	15	14.4

		A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
3 市民（利用者）のサービスの向上							【配点15点】
(ア) 教室受講者の満足度調査について	目標を達成することができたか。	3	3	3	3	3	3
	調査結果分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか	2	2	2	2	2	2
(イ) 利用者・市民アンケートについて	利用者アンケート等の調査結果を分析し課題を抽出しているか	1	1	1	1	1	1
	利用者アンケート等から抽出した課題に対して、対応策を講じているか。	1	1	1	1	1	1
	利用者アンケート等の結果や課題対応策の公表をしているか。	1	1	1	1	1	1
(ウ) 苦情について	市へ苦情が寄せられたことがあるか（指定管理者管理によるもののみ）	1	1	1	1	1	1
	苦情等が寄せられた内容等を記録し、内容を検討し、対応策を講じているか	2	2	2	2	2	2
(エ) 利用者に対して施設情報やイベント等の情報提供に努めている。	(HP等のアクセス数など)	2	2	2	2	2	2
(オ) 関係機関との連携・交流等を図るとともに、地域への参画を積極的に行い、質の高いサービスが提供できるよう努めた。	地域貢献・地域活性化への参画ができていますか	2	2	2	2	2	2
小計		15	15	15	15	15	15
4 施設固有の評価項目							【配点20点】
(ア) 指定管理者の経理状況の評価（収支計画・実績について）	効率的な執行や経費削減の具体的な取り組みは行われたか。	3	2	3	2	3	2.6
	適正な収入が得られているか。	2	1	2	2	2	1.8
	事業計画の健全性を把握した事業展開がされているか。	2	2	2	2	2	2
	事業収支において、適正な会計処理がなされているか。	2	2	2	2	2	2
(イ) 複数施設を一括管理している中で、他施設との連携事業を行なっている。		5	4	4	3	5	4.2
(ウ) 施設の特性を生かした地域交流を行ない、ネットワークを構築している。	地元市町村や関係団体との連携広報計画など、施設利用促進に向けて具体的な方策を有しているか 利用促進に向けて具体的な方策を有しているか	3	3	3	2	3	2.8
(エ) 施設特有の料金体系を提案するなど、独自性をもって事業展開をしている。		2	3	3	2	3	2.6
小計		19	17	19	15	20	18
総合計		98	93	98	89	100	95.6

※平均点は、小数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】
・適正な管理運営と認められる。 特に、複数施設の連携は利用率の向上が図られており、効果的な運用だと判断できる。
【B評価委員】
・キャンプの受け入れによるが、収支状況にバラつきがあるよう見えるため、安定した収支状況を望む。
【C評価委員】
・エスパルスとのJVで事業を行っているが、エスパルスとの連携事業が、事業運営に十分に反映されていないように見える。 今後、連携が円滑に行われ、事業内容や収支に反映されるのを望む。
【D評価委員】
・トップアスリートから直接指導を受けることができるスポーツクリニックの実施に大いに評価できる。 ・今後も地元地域と連携しながら、地域に還元できるような事業の展開を期待したい。
【E評価委員】
・施設管理は適正に行われている。
評価委員会としての意見
・施設は適正に管理されている。 ・地域の小学生を対象とした、トップアスリートによるスポーツクリニックの開催等、創意工夫のある事業展開を行っている。 ・施設間の連携、トップアスリートの継続利用など、運営に関して高く評価できる。